

科目名称	地域貢献プロジェクト				ビジネス・キャリア (必) オフィス情報 ()
英文科目名称	Regional Contribution Projects				グローバル・コミュニケーション () 医療事務・医療秘書 ()
科目コード	590130	授業形態	実習	単位数	2
教員氏名	呉 海鍾		年次配当	1 年次	前期
実務経験教員担当	有 ・ (無)		アクティブラーニング		(有) ・ 無
授業概要 及び授業方法	<p>近年、少子高齢化に伴う過疎問題、限界集落の問題、又は中心市街地の空洞化等、地域社会は様々な課題を抱えております。これらの問題は宮崎市においても例外なく当てはまります。その一方で、高等教育機関である大学及び短期大学には、その「知」を活用して如何にして地域貢献に取り組むかが責務として課せられています。</p> <p>上記を踏まえ、本授業では宮崎商工会議所からの依頼を受けて、宮崎市の中心市街地の活性化等について①学生が自ら中心市街地が抱えている課題等について明らかにし、②その改善策について考え、③中心市街地の活性化のための方策について提案をするというプロセスを通して地域に貢献することを目的としています。その為に、宮崎市の中心市街地へのフィールドワークやグループワークを基にした調査研究等を行います。授業の最終日には「地域貢献プロジェクト研究成果報告会」を開催し、宮崎商工会議所の方々をお招きし、宮崎市の中心市街地の活性化のために学生が考えた方策について提案を行います。本授業を通して、①地元である宮崎市を深く理解するとともに、②社会人基礎力、③ジェネリックスキル、④実践力を養っていきます。また、本授業を通して皆さんと一緒に地域貢献についても考えていきます。</p>				
関連する科目	社会学概論、社会学、統計学、現代社会論、異文化コミュニケーション論		卒業認定(学習成果)との関連		①②③④⑤⑥
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：授業の進め方、目的、到達目標、評価方法等の説明 2. 社会調査法：フィールドワークに必要な知識や心構えについて学ぶ 3. グループワーク：宮崎市の中心市街地の現状、特徴及び課題に関する調査 4. グループ発表：調査結果の報告 5. フィールドワーク：中心市街地の空間的把握等を目的とした現地調査 6. グループワーク：グループ毎に中心市街地でのフィールドワークで使用する質問項目の策定 7. フィールドワーク：宮崎市の中心市街地の全体像の把握を目的とした現地調査 8. グループワーク：聞き取り調査のデータ等をもとに、その特徴や課題等の取り纏め 9. グループ発表：調査結果の報告 10. グループワーク：研究計画の策定及び質問項目の策定 11. フィールドワーク①：グループ毎での調査研究① 12. フィールドワーク②：グループ毎での調査研究② 13. グループワーク①：グループ毎による調査結果の取り纏め① 14. グループワーク②：グループ毎による調査結果の取り纏め② 15. 地域貢献プロジェクト研究成果報告会：グループ毎の研究成果報告 				
授業時間外の学習	<p>毎回授業のテーマに関連する事項について書籍、論文又はインターネット等を利用して調べる等必ず予習をしてから授業に臨むこと。また、復習は必ず毎週1時間程度行い、次の授業の時にきちんと前回の内容が理解できているようにしておくこと。尚、フィールドワークやグループ毎の調査研究に関するデータの分析や取り纏め等は、調査後必ずグループメンバーで分担をして行い、次の授業の時に調査結果等をグループメンバー全員が把握できている様にする。</p>				
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①宮崎市の中心市街地の現状と課題について理解できる。 ②フィールドワークに必要な基礎的な知識を身につける。 ③グループワークによる調査研究を通して、宮崎市の中心市街地の活性化のための方策を提案できる。 ④ (1) 社会人基礎力、(2) ジェネリックスキル、(3) 実践力を養う。 				
課題に対するフィードバック	課題などのフィードバックに関しては、授業毎に適宜行う。		評価方法・基準		①課題等 (30%)、②グループワークでの貢献度等 (30%)、③グループ発表 (40%) で算出する。
テキスト	本授業は、テキストを使用せず、適宜関係資料の配布、スライド、ビデオなどを使用しながら進めていく。				
参考書	適宜授業で紹介する。				
備考	他コース履修は、許可しないこととする。				